

恩師からの便り

篠田 孝雄 先生

昭和46年4月～昭和52年3月 物理科教諭

昭和43年に大学を卒業して、新採用で聾学校に3年勤務し、その後、竹田高校に6年間勤務しました。普通科校は初めてで当初は大変戸惑った記憶があります。当時の校長は藤村校長で、その後、田村校長、大津校長だったと思います。

理科は、物理が小代先生と私、化学が秋重先生と中園先生、生物が須藤先生と倉原先生、地学が菅沢先生、実習教諭が若杉さんでした。教科では定期的に飲み会をやり、教科の旅行も楽しく思い出されます。宿舎は柚谷のアパートで、隣に英語科の大塚先生がおり、よく飲み歩きました。朝食と昼食は吉良食堂のごはんをいただき、当時おばちゃん元気で大変お世話になりました。



篠田先生近影

分掌の仕事は教務の時間割係になり、係が分担して出張や年休による時間変更を職員室の黒板に記入していましたが、解体授業があると、動かしにくく苦労した記憶があります。

また、新年度になり、各教科の陣容が決まり、受け持ち時間が決まって、それから全体の時間割を作る作業が大仕事でした。春休みに出勤して、鉛筆で書いては消し、全職員の時間をはめていった思い出があります。

部活動では鷺司先生に誘われて竹田山岳会にも所属して山岳部をもちました。合宿でくじゅう連山や祖母山、傾山には数えきれないほど登りました。インターハイ、九州大会、茨城国体にも参加して、国体では入賞して賞状を工藤君が受け取ったと記憶しています。この時のメン

バーは工藤、大野、私の3名でした。きついコースをへたばらずについていった結果だと思っています。

部活動でもう一つ、鳥養先生が顧問の民族部の合宿に、鳥養先生に誘われて、城原と朝地の合宿に参加しました。自動車の提供が主だったと思いますが、卒業した先輩も参加して、地域の歴史や民俗について調査したと思います。



在勤時代の篠田先生

また、鳥養先生は岩陰遺跡を探していて、たまたま私と国語科の小川先生と3人で何か所か探していた時、あるところで貝殻や小動物の骨を見つけて、それが読売新聞に小川先生と私の2人の写真入りで載ったのにはちょっと困ったという気持ちだったのを思い出します。鳥養先生とは家に行って飲んだり、個人的にも付き合いました。

また、岡城の周りの学校林の下刈りを生徒と一緒にやったり、臼杵の黒鳥でのキャンプや岡城のお別れ会、クラススのレクリエーションでのソフトボールで、私がピッチャーをしていたとき、打球が私の



昭和48年の修学旅行にて
「写真の一番手前が篠田先生です。先生も若かったので生徒と見分けがつかないです」
(写真提供・コメント：佐藤浩さん〈昭50年卒〉)

顔面を直撃したことなどを楽しく思い出します。

伝統ある竹田高校に最初の6年と後の3年の合わせて9年勤務させてもらいましたが、多くの人と出会い、幾多の支えをいただいたことに感謝でいっぱいです。よき伝統を地域と一緒にやってさらに伸ばしていくことを祈っています。

近況は、退職してから、専門学校や私立高校に勤めています。今はフリーになり畑を少ししたり気ままに過ごしています。竹田高校に赴任して2年目に田村校長の媒酌で、竹田高校出身の宮底の女性と結婚しましたが、19年前病を得て他界し、今は一人です。一人の生活ですが、幸い2人の娘も大分市にいて行き来がありますので、元気づけられています。以上拙文ですが、思い出すままに書きました。



大分県立竹田高等学校
関東同窓会
第64号

発行者・会長 都 俊生
編集者・委員長 衛藤 淳
発行所・関東同窓会事務局
〒194-0013
東京都町田市原町田4-17-20
電話 090-2646-4808

<https://kantoutaketa.org/>

会長
あいさつ

ともに讀えん！竹高生！！

竹田高校関東同窓会会長
都 俊生
(昭44年卒)

新緑の候、会員の皆さま方にはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

2024年は、元日に能登半島地震が発生し、翌2日には羽田空港で航空機衝突事故が発生するなど波乱に満ちた幕開けとなりました。今年は干支で辰年に当たりますが、世の中に変革や激動をもたらす年と言われている。世の中が良い方向に大きく変化していくことを望ま

ずにはられません。

さて、今年の竹田高校関東同窓会総会・懇親会は、昨年に続き飲食を伴うかたちでの総会・懇親会を開催いたします。今年は250名以上の参加を期待して役員および当番幹事が一丸となって鋭意準備に取り組んでいるところです。

参加費につきましては、8千円に据え置くこととしました。物価上昇が顕著な環境下ではありますが、参加へのハードルが高くないように判断したものです。同窓会経費削減のため、Zoom会議、貸会議室の利用などのほか、ITの活用により同窓会出欠連絡手段の多様化にも努めているところです。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

近時、竹田高校卒業後に進学や就職のため関東方面に出て来られる人はごく少数になっています。これは時代の大きな流れの変化であり、この傾向は今後も続くものと考えられます。当同窓会にとってこれは厳しい現実ですが、まだまだ母体となる会員層は厚いものがあります。総会・懇親会にまだ出席されたことのない会員への参加推進に力を入れ、当同窓会の活力を維持・発展させていきたいと考えております。

なお、今回から同窓会での服装について、「クールビズ（ノーネクタイ）」を推奨することとしました。同窓会にはノーネクタイにより快適にお過ごしいただきたいことに加え、堅苦しくない和やかな会場の雰囲気作りのためでもあります。ぜひ、ご協力をよろしくお願い致します。

「故郷との絆 誇りと感謝の想いを寄せて」これは案内チラシに書かれたフレーズです。まさに同窓会は母校と故郷を共有する人々が共に楽しく語らう場所です。学歴や社会的地位、肩書きなどから解放されて、人それぞれにこれまで歩んで来られた人生とともに讀え、故郷を同じくする仲間としてご歓談いただきたいと思います。

昨今は人と人とのつながりが希薄になりがちです。コロナ禍により人との交流が長いあいだ途絶えた影響が大きいですが、通信手段の主力が固定電話から携帯電話に変わり、電話番号やメールアドレスの変更が頻繁に生じていることも交流の障害になっていると見られます。さらに、「振り込め詐欺」などの犯罪頻発が電話でのコミュニケーションを難しくしています。人との交流は一旦諦めてしまうと先細りになってしまいます。その意味でも同窓会は友人との交流を取り戻す良い機会です。ぜひ、同級生など旧友に声を掛け合い、誘い合ってご参加をお願い致します。

今回、懇親会の部では、特別講演として平成12年ご卒業の倉原直美さんにご登壇をお願いしております。人工衛星活用などの宇宙ビジネス分野でご活躍されている方です。最先端の宇宙ビジネスにかける想いととも

令和6年
春の役員会・幹事会報告幹事長
後藤 修
(昭50年卒)

令和6年4月6日(土)としま区民センターにて役員会・学年幹事会が開催され、以下の事項について協議しました。

■役員改選と会則改正について

役員改選について一部を除きほぼ全員の継続が報告され、また会則に副委員長に関する規定を追加する旨が報告されました。共に了承されました。

■令和6年度関東同窓会

■総会・懇親会の開催について

昨年と同様、東京プリンスホテル プロビデンスホールにて2024年6月22日(土)に開催を予定していることが企画委員長から報告されました。

総会・懇親会では、昭和48年卒、昭和58年卒、平成5年卒の各学年当番幹事が特別講演会を企画しました。プレゼンターは竹田高校平成12年卒で、株式会社インフォステラ代表取締役CEOである倉原直美氏です。株式会社インフォステラは、宇

宙空間を飛翔する人工衛星と通信するための地上の通信設備をサービス提供する会社です。特別講演は、「宇宙産業の現状と今後の展開」と題してお話しいただく予定です。また、昨年に引き続き、ふるさとの名産品も会場内で販売する予定です。

■関東同窓会の

収支状況について

総務委員長から、昨年7月の総会・懇親会ではコロナ禍後の飲食を伴う初めての懇親会になりましたが密とならないよう安全面を配慮した結果、割高な卓盛り形式で実施したこともあり、大幅な赤字での着地となったこと（予算案通り）。また、総会収入増加（参加者増）や維持会費増加（納入者増）は難しい状況であることに言及し、来年度以降においては従来のブツフェ会式での懇親会開催や貸会議室の利用等による更なる経費削減に努める必要がある旨の発言がありました。

■会員の状況について

組織委員会からは会員数の推移について報告があり、昨年は会員数減少13名分に対して、かろうじてほぼ同数の新会員を登録がありました。少子高齢化の

竹田高校関東同窓会

第38回総会・懇親会のご案内

当番幹事

平成5年卒
昭和58年卒
昭和48年卒



当番幹事代表
森 純洋さん
(昭58年卒)

故郷との絆、誇りと感謝の想いを寄せて

平成25年度の懇親会テーマは「私達の故郷竹田が水害から立ち直るための復興支援」でした。令和6年1月1日の能登半島地震により多くの犠牲者と多大な被災が発生いたしました。竹田も、昭和57年・平成2年・平成24年と水害に遭い、復旧に

第38回 総会・懇親会	
日 時	令和6年6月22日(土) 11:30~15:00 (受付開始10:45)
会 費	8,000円
会 場	東京プリンスホテル プロビデンスホール

※詳しくは同封の案内チラシをご覧ください。

多大な労力と費用を費やしました。

昭和57年卒の一年先輩は、平成25年8月に竹田高校卒業30周年の同窓会で、被害状況を目の当たりにされ故郷に暮らす方達の悲しみ、苦しみに耐え元氣な竹田を取り戻すための一つとなればと思い、同窓会総会・懇親会のテーマを決めたとの事を思い出しました。能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地での救助活動・復旧作業に従事されておられる方々に深く敬意を表します。一日も早い復興をお祈り申し上げます。昨年度のテーマ「故郷竹田の今、そしてこれから」です。竹田市の人口は、2020年は、20,346人です。将来人口推移では2030年は、16,469人、2045年は、11,520人と予想されております。低迷する経済状況や過疎化による少子・高齢化の進行により、年間約500名の人口減少が続き、高齢化率も48%に達しています。その現状を打破するために、多くの費用を使い

多くの取り組みを実施しております。

竹田が実施しています、THE 3rd PLACE TAKEETAを存じでしょうか。自宅や職場とは隔離された、心地のよい第3の居場所を指す言葉です。コロナ禍でリモートワークが一般化し、第3の居場所の価値が一層に見直されつつあります。若者が働ける企業が無いのなら、全国の若者に豊かな暮らしを営むことのできる土地や民家を提供する取り組みの一つです。ただ年間500名の人口減少を止めるまでにはいたっておりません。

私たちにできる事は、竹田の取り組みを一人でも多くの若者に伝えることと、竹田を離れた方々が65歳・70歳を機に故郷に戻り竹田に納税し故郷の活性化を図ってみてはどうでしょうか。まずは、竹田高校関東同窓会メンバーが竹田に戻り、生き生きとした生活を全国に発信し竹田出身の方々に刺激を与えることができれば、故郷竹田の活力に繋がると思います。

最後になりますが、今回のプレゼンターは、竹田高校出身の倉原直美さまでです。プレゼンテーマは、「宇宙産業の現状と今後の展開」です。あきらめずに夢をつなぎ続け、宇宙ビジネスの未来を切り開く倉原さまのお話を楽しみにされてください。また、今年の懇親会テーマ

影響は顕著ではありますが、皆さまのご協力ありがとうございました。昨年は組織委員会では会の活性化のためにアンケートを実施しました。その結果は8ページで紹介しました。

■同窓会ホームページの運用および大志文庫について

広報委員長から「ホームページの運用について」と「大志文庫について報告がありました。これまでホームページの運用及び管理についての運用規定が整備されていなかったことが

ら、個人情報の取り扱いを含めた規定を策定し、ホームページ管理担当者を指名することが役員会に諮られ、了承を得ました。また、母校支援活動の一環として取り組んでいる図書寄贈「大志文庫」については、これまで贈ってきた図書を取り入れることが、今期は新たな図書の架台を送ると共に新規の図書も贈ったことが報告されました。

※会計報告は8ページに掲載しました。

「総会・懇親会」の出欠連絡はホームページからお願いします



スマートフォン・タブレットをお持ちの方は、この2次元コードを読み込んでご利用ください。

【ご注意ください】
出欠連絡をホームページから行った場合は、本誌同封の「返信ハガキ」を利用しないようお願いいたします。連絡が重複して混乱すること、返信ハガキの「送料軽減」のためです。ご協力をお願いいたします。

は、「故郷との絆、誇りと感謝の想いを寄せて」です。平成5年卒、昭和58年卒、昭和48年卒業が当番幹事となります。

と、絆、誇りと感謝の想いを寄せてを感じていただけるような同窓会にいたしますので多くの方々のご参加をお待ちしております。

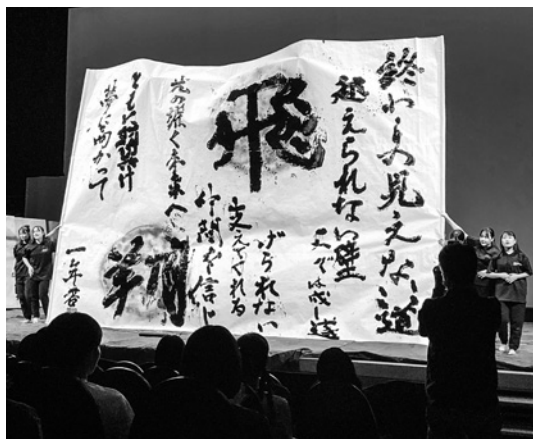
母校の話題

コロナ禍を超えて、 臥牛祭、修学旅行に笑顔はじける！



大分県立竹田高等学校
教頭
小野 鉄次郎 先生

9月、竹田高校が最も熱くなる臥牛祭・文化の部が開催されました。1日目はグラントツ竹田（竹田市総合文化ホール）でオープニング行事や2年生によるステージ発表が、2日目は生徒会企画などの体育館イベントや1年生によるクラス展示が行われました。フィナーレはやはり有志の生徒たちによるストームです。



臥牛祭・文化の部（書道・吟詠部パフォーマンス）

9月末には臥牛祭・体育の部が開催され、学年別の対抗戦ということもあって、生徒全員が学年の名誉のため全力で各競技に参加しました。コロナ5類への移行にともない、臥牛祭・文化／体育の部ともに従来の形に戻り、保護者の方々にも参観していただく機会を持てました。11月、本校同窓生で環境NPOグリーン連合の共同代表を務める藤村コノエ氏による講演会が3年生を対象に開催されました。また、竹田市の主催する「竹田から輝く。一時



臥牛祭・体育の部（フォークダンス）

の名匠講演会」が講師に脳科学者の澤口俊之氏をお迎えして開催され、全校生徒で参加しました。

いずれの講演会も現状に対する分析と課題が提起され、未来を担う本校生にとって大変意義深いものとなりました。

さらに竹田の冬の風物詩「竹楽」が催されましたが、本校1年生が前日のボランティアで竹灯籠を竹田市街に並べて回りました。1年生が行う地域探究活動や毎学期に実施される地域清掃活動とともに、地域に支えられ地域とともにある竹田高校を実感する場となりました。



修学旅行（スキー）



修学旅行（都内自主研修）

学ぶ会の後は、いよいよ東京自主研修、東京デイズニードでのひと時です。この時間を待ちわびた生徒も多かったと思います。生徒たちは時間を忘れて思う存分楽しんでくれたようです。これらの経験を通して「東京に進学・就職したい!!」という思いを持った生徒もいたかもしれません。

1月は3年生が大学入学共通テストを受けました。受験当日、会場の大分大学ではやはりストームが行われ、例年通り多くのメディアから注目されました。3年生は無事受験を終え、2月現在、国公立大学等の受験に向けてラストスパートをきつて勉強に取り組んでいます。春の訪れとともに本校受験生に「サクラサク」ことを祈っています。



大学入学共通テスト
（受験会場の大分大学でのストーム）

12月は高校生活で最も楽しみな行事である修学旅行です。今年も例年と同じく「長野・東京4泊5日」の旅でした。初めてスキーを経験する生徒がほとんどでしたが、2日目にはゲレンデで颯爽と滑走する姿が見られました。温暖化の影響で最近では竹田でも積雪があまり見られなくなったので、一面の銀世界にいただけで非日常を実感できたのではないのでしょうか。

東京での研修の一つが関東同窓会の皆さまには大変お世話になりました「関東同窓生に学ぶ会」です。日頃あまり接することのない方々から体験を交えた貴重なお話を伺う機会となりました。この場を借りて改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。来年以降もどうぞよろしく願っています。

クラス会・同期会

2年遅れの古希・記念同窓会

富田一彦さん(昭45年卒)

竹田高校「45年会」の古希同窓会が10月22日、竹田市の岩城屋ホテルで開かれ、89人が参加しました。コロナ禍のため、2年遅れの開催でした。1970年の卒業生449名、案内ハガキ発送323通、プログラムには名簿、欠席者のメッセージ、「・」で物故者が記されていました。

開会の15時を待ちきれない同級生たちが13時頃から続々とロビーに集い、旧交を温める姿が見られました。中には卒業以来という同士も多く、お互い元氣に再会できたことを喜び合う光景は誠にいいものでした。

受付が始まると、会の企画から案内状発送、参加者集約などに汗をかくてくれたクラス幹事に感謝しながら、会費1万円を支払いました。2時間という時間制限の中で、しかも懐かしい級友との会話が弾んで、とても食べきれない料理、「もったいないなあ」と思ったことでした。

開会前に記念撮影、会は最初に物故者への黙祷、世話人会の板倉永紀会長挨拶に続き恩師で

ただ一人ご出席の吉田慧日先生(3年8組担任)の挨拶がありました。深い黄土色の作務衣をお召しの先生は、白い眉毛も長く、翁の風情でした。

先生は、「今日の古希の会は杜甫の詩、人生七十古来稀なりに由来する」と先生の漢文の授業を思い出させ、「参加は89人というが、偶然ながら僕は当年89歳。来年は卒寿となる。卒

寿の卒は卒業の卒。僕はやがて人生を卒業するが、古希の諸君はこれからだ。郷土のため、社会のため、世界のために大いに奮闘していただきたい」と檄を飛ばされたのです。

五言絶句や七言律詩、そして源氏物語、枕草子など歯切れよく朗読された吉田節は今なお健在、先生こそ益々ご活躍を！でした。

乾杯後のクラス紹介は9組から。8人が壇上に並びクラス幹

事の堀智子さんが、「一番遠くから参加した富田さん、代表して挨拶して」と私を指名。突然のご指名に戸惑いつつ、最後の「45会」というので埼玉から参加したが、喜寿までにもう一、二度などと月並みのことを言ってお終い。

クラス紹介は8、7、6と続き庄巻は女子だけの2、1組。ハットとそれぞれの衣装で『恋の季節』の熱唱でした。私たちが高校2年、1968年にピンキーとキラーズで大ヒットしました。彼女たちの熱唱を聴いた時、9組の紹介では舟木一夫の『高校三年生』を歌う手もあった

たなとホゾをかんたのでした。そうしたステージの動きの中でも思い出を語り合う輪は花盛り、時間は瞬く間に過ぎ、格調高く清々しい校歌を3番まで斉唱、楽しい最後の「45会」は幕を閉じました。

その後、11月下旬に関東同窓会の同級生4人で少し早い忘年会を神田の学士会館で行いました。その時、「クラスごとの45会もありだよ」という話になりました。近い将来に実現することを願いつつ報告とします。

同級会・クラス会の情報を お寄せください



本誌「臥牛」では「同級会・クラス会」などの寄稿をお待ちしております。集まりは正式な形でなくてもけっこうです。たとえば、飲み会や一緒に旅行やゴルフに行ったなど、同級生との交流であればどのようなものでも大歓迎いたします。

私たち関東同窓会は各学年に「学年幹事」さんがおります。(次のページに「学年幹事一覧」を掲載)

学年幹事さんに情報を集約したり、集まりを相談したりして

交流を図っていただければ幸いです。

また、ホームページには「掲示板」も設けられています。ぜひ活用していただき、呼び掛けや情報提供などに役立ててください。2次元バーコードはスマホやタブレットなどで読めば、そのままホームページが表示されます。



竹田高校関東同窓会
ホームページ

昭和45年卒の古希記念同窓会

学年幹事一覧

（2023年9月時点）

卒業年次	氏 名	
昭和26卒	濱口 鈴子	
昭和27卒	津田 美枝	
昭和28卒	益永 三生	
昭和30卒	用正 靖彦	
昭和31卒	河野 智治	高橋 房枝
昭和32卒	高橋 勝和	藤原 保範
昭和34卒	服部 恭一	市村 真一
昭和35卒	平手 肇	
昭和36卒	吉村征二郎	
昭和37卒	桃溪謙次郎	
昭和38卒	続 勝三郎	
昭和39卒	安藤 紀	
昭和40卒	田部 厚	大坂 好美
昭和41卒	中神 章彦	後藤 章一
昭和42卒	堀 正孝	
昭和43卒	甲斐 文夫	工藤 和博
昭和44卒	伊東 忠明	高橋 博子
昭和45卒	川口 弘展	原田 健治
昭和46卒	日高 慶記	保坂 斎子
昭和47卒	柚須 潔	後藤 和典
昭和48卒	戸次 幸二	山村恵美子
昭和49卒	村上 泰子	田北 豊明
昭和50卒	工藤 孝士	佐藤 浩
昭和51卒	飯田 良典	鈴木 敬子
昭和52卒	内藤 賢一	後藤 章仁
昭和53卒	宮木 勢	渡辺 隆
昭和54卒	佐保 哲郎	
昭和55卒	垣内富貴代	板井 浩司
昭和56卒	武内 宏文	岡本 紀子
昭和57卒	佐藤 孝一	阿南 寛
昭和58卒	森 純洋	柳川美砂江
昭和59卒	衛藤 寛	大石 美紀
昭和60卒	川島 秀夫	米野 良恵
昭和62卒	竹下 賢仁	戸林 知輝
昭和63卒	肥田 雅子	
平成3卒	波多野寛昭	
平成4卒	首藤 正幸	田島 順
平成5卒	後藤 里見	
平成7卒	古庄 実	
平成10卒	志賀 昭靖	
平成11卒	山口 慶明	井筒 剛司
平成13卒	工藤 一瀬	山口 明
平成15卒	工藤 佑允	
平成20卒	田部 創	



学年幹事の拡充を!

学年幹事は同窓会の活動を支える大事な存在です。

ブランク部分と卒業年が飛んでいるものは“不在”となっています。

学年幹事体制を充実させるために、皆さまの積極的なご参加と同窓生の情報提供をお願いします。

同級会・クラス会

コロナ禍で中止が相次いでいた集まりも徐々に復活し、うれしいことに同窓会やクラス会なども続々と報告をいただけるようになりました。ここでは写真中心になりますが、送っていただいた写真を皆さんにご紹介します。

昭和56年卒 1年遅れの還暦同窓会

昭和56年卒はコロナ禍で実施できなかった「還暦同窓会」を2023年11月25日に竹田市の岩城屋で行いました。恩師は工藤了先生、阿部雅博先生がご参加してくださり、合澤校長先生も駆けつけていただき、総勢95名の参加者となりました。
（学年幹事・岡本紀子さん）



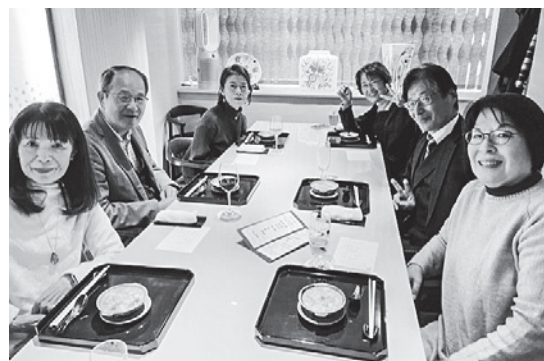
昭和50年卒



写真上：昨年3月、数年ぶりで竹田に帰省した時に、同期に集まってもらって盛り上がった時の写真です。

写真右：昨年12月に同期で忘年会として集まりました。

（学年幹事・佐藤浩さん）



昭和51年卒



昨年5月に大分から3人、福岡から1人の同級生が上京してきたので、個人宅のマンションのパーティールームをお借りして集まりました。ケータリング・サービスや持ち寄りなどで楽しく過ごすことができました。
（学年幹事・鈴木敬子さん）

昭和62年卒



昨年7月に竹芝にて同級会を行いました。5年ぶりに関東近郊の同級生が集まりました。
（学年幹事・竹下賢仁さん）

令和5年 第70回竹田会

田部修士(昭和42年卒)

コロナ禍で4年ぶりとなる竹田会が11月2日(木)63名が参加され東京ガーデンパレスホテル2階天空の間で開催された。

初めに、司会の阿南さんから、この3年間の物故者の名前が披露され、一同黙とうを捧げて会が始まった。会の冒頭、古庄幸一会長より「昭和25年に始まり今回で70回となる竹田会は他に例がない会で、皆様のご出



▲右から関東同窓会 都会長、竹田会 古庄会長、同窓会 服部会長、関西同窓会 首藤会長

▼後列右から関東同窓会 菅前会長、白坂議員、土居市長。前列右は長吉先生、左は古庄史郎さん(昭和38年卒)



席に感謝します。ぜひとも竹田会と竹田市の歴史と伝統を次世代につなげていきたい」と挨拶があった。

続いて、御多忙な公務の日程を調整され竹田市から出席の土居市長が登壇され「開催を心からお慶び申し上げます。市長となつて3年目となりますがその間も人口減少は止まらず、竹田市総合計画を立ち上げ取り組んでいます。今後も皆様の変わらぬエールと竹田市へのふるさと納税を切に願います」と来賓を代表してご挨拶いただいた。

【来賓の皆様】

竹田市長土居昌弘様、大分県東京事務所 馬場所長、大分銀行 徳部次長、広瀬武夫研究家(東京大学) 笹本玲央奈様。竹田市より服部竹田高校同窓会長、姫野商工会議所副会長、重松様、高橋様、山室様、船津様。

次に、先の参院補選で当選された白坂参議院議員が「竹田を離れて30年以上、しかも選挙当日まで40日を切った状況の中、地元役に立ちたいと勇気を振り絞って立候補しました。苦しい選挙戦でしたが竹田の力で僅差ですが勝つことができました」と報告をされた。

長老の長吉先生のご発声「皆様の話を伺い何か地元貢献できることはないかと思っています。70回となる竹田会の今後の発展を祈念して乾杯！」で懇親会が

スタートした。

初めてのことがだが、今回は竹田高校同窓会長、関東同窓会長、関西同窓会長が揃ってご参加。古庄会長と各同窓会長(服部会長、都会長、首藤会長)が4人揃って写真に収まった。

会の途中、東洋太平洋女子スーパースタジアム級チャンピオンのボクサー 菊池真琴さんの紹

大志文庫に貴重な2冊の寄贈

藤富康子さん(旧姓・大津)

(昭和19年・竹田高等学校卒)

後藤 美智子さん(昭和20年・同卒)

大志文庫にお二人の大先輩から、大変に貴重な書籍2点を寄贈していただきました。謹んでご紹介させていただきます。

『サイタ サイタ サクラガサイタ』(藤富康子著・1990年 朝文社刊)

小学校の国語教科書の編纂に、生命を賭して取り組んだ井上越(鳥根県出身の文部官僚)の生涯を克明に追ったノンフィクションで、執筆されたのが藤富康子さんです。

藤富さんご自身からご寄稿いただきましたので、掲載させていただきます。

【出会】 藤富康子

『サイタ サイタ サクラガサイタ』コイコイ シロコイ。スメ ススメ ヘイタイ ススメ。オヒサマ アカイ アサヒガ アカイ ヒノマル ノハタ パンザイ

介があり、スクリーンにて「竹田会への参加を切望していましたが、今回3日後の11月5日に防衛戦が決まり、出席ができませんでした。来年は世界チャンピオンとして皆様にお目にかかる様頑張ります」と力強く挨拶された。

笹本玲央奈さんは、「2014年に広瀬武夫が縁で初めて竹

憑かれたように唱えつつける声に、机上の書類越しに、いくつかの顔がこちらを向く。あきれ顔、軽蔑の顔、にやにや顔。

「藤富さんはサクラ読本習ったの？ ぼくはハナハト マメなんだけど、昭和の初めあの教科書編集者だった人から直接聞いた話だと、命令形で動かされるのが人間であつてはならないっていう信念から挿絵の兵隊を木彫りのオモチャにした、つまり軍国主義の台頭抵抗の姿勢を示したって、いわくつきの教材だったわけ。六年間十二巻のサクラ読本は、日本の国語教育の最高水準の教科書で、もうあれ以上の高度な国語教科書はできないだろう、と言われていくらいのものなんだってさ。初めての色刷りだったしね」

「こぼ」の出会い、発見の神秘を伝えて、私の国語好きは決定的なものとなった気がする。「文部省」とだけ記された奥付の教科書

令和6年3月

『時』のかたみに 広島女子高等師範学校誌(藤富康子編著) 寄贈・後藤美智子さん

広島女子高等師範学校(広島

田市に行かせていただきました。度々竹田に参りましたが、来年(令和6年)も3月27日にお邪魔して廣瀬神社の行く末と題して皆様と一緒に語る予定です」と挨拶された。

最後に佐藤真史さんのフルート演奏に合わせて、恒例の荒城の月を合唱し、来年の再会を約束して閉会した。



女高師)は設立が昭和20年、最初の授業が予定されていたのが8月6日のことでした。この日、被爆。校舎は全壊、生徒教職員も多数犠牲になりました。広島女高師は、4年後に新たに発足した広島大学に包括されました。わずか4年の歴史に遭遇されたのが、私たちの大先輩・藤富康子さんと後藤美智子さんでした。

この広島女高師の歴史を後世に伝える貴重な一書が本書であり、この度、母校「大志文庫」に寄贈される運びとなりました。

令和5年度 年間収支

項 目	R5年 確 定
総会収入	
総会会費	1,482,000
総会祝儀	136,000
売店収入	0
販売手数料	0
小 計	1,618,000
総会費用	
ホテル支払	2,315,115
来賓土産／御礼	50,268
持込酒・水代	46,346
本部売店仕入	0
イベント費	120,000
記念イベント	0
会員土産代	0
DVD諸経費	0
印刷費（案内状／プログラム）	106,890
通信費	33,586
備品その他	13,925
その他諸掛	26,273
小 計	2,712,403
総会収支	▲1,094,403
(同窓会運営関連)	
維持会費収入	1,440,000
経常費用	
会報費	252,794
会議費	324,793
名簿費	57,422
HP費	69,109
幹事助成金	48,000
組織活動費	35,780
慶弔費	0
寄付金	0
新規事業	0
事務通信費	83,246
通信費	6,064
諸会費	30,000
手数料	41,339
荷造運賃	1,652
事務消耗品	4,191
母校支援費	65,985
母校120周年事業（H29）	0
小 計	937,129
維持会費収支	502,871
雑収入	27
寄付金収入	0
合 計	▲591,505
次期繰越金	3,744,949

◆会員情報ご提供のお願い◆

特に、来年の総会学年幹事予定である、平成6年卒を探しています。
関東だけでなく竹田をはじめご縁のある関係から、ぜひ消息をお知らせください。

◆アンケートへのご協力ありがとうございました◆

前号の臥牛第63号にて実施いたしましたアンケート集計の概要は以下の通りです。（詳しくは関東同窓会ホームページに掲載しています）

- 「今後の関東同窓会に期待すること」では、81.1%が「これまで通りの活動を継続して欲しい」。
- 維持会費の金額（5,000円）については、約86%の方が「妥当」。
- 関東同窓会の活動に対する「理解あり」は、「まあまあ」も含めて92%。
- 会報誌は「『紙に印刷』が良い」38.5%。「メールなどデジタル対応も可」42.3%。「どちらでも良い」19.2%。
- 関東同窓会ホームページを「よく見ている」「たまに見る」62.8%。
- 会員確保は、「関東以外でも可」50%。「どちらでも良い」40.8%。「明確に反対する」10%未満。
- 懇親会で見たいイベントは、「同窓生の活躍紹介や音楽イベント」「故郷の伝統芸能」など。
- 関東同窓会へのご意見として、「高齢なので同級生の情報が欲しい」「会報誌をファイルして時折読み返している」「会費を下げ間口を広げるのはいかがか」「役員及び学年幹事の奉仕に深謝している」等。

* 送付数：1351通、回答数：計79通（グーグルフォーム：53通・FAXまたは郵便：26通）、回答率：5.8%。

関東同窓会の継続と会員数確保のために、今後とも多様なご意見および情報をお寄せください。

◎情報提供先 組織委員長 飯田良典（昭和51年卒）
TEL:090-1118-5778
E-mail:yoshihanda55@gmail.com

竹田高校
関東同窓会
ホームページ



訃 報

慎んでお知らせ申し上げます。
物故者御芳名 ※順不同
2024年2月17日現在

新	上村マサ子様（昭27年卒）	得丸 正哉様（昭27年卒）	大崎 員雄様（昭26年卒）	佐藤寿美枝様（昭24年卒）	阿南 一郎様（昭23年卒）	伊東 健二様（昭20年卒）	堀 修一朗様（昭20年卒）	森下 亮様（昭16年卒）	三代 照子様（昭13年卒）
久夫様（昭27年卒）	2023年3月19日没	2022年9月26日没	2022年11月29日没	2023年1月15日没	2023年2月11日没	2023年8月7日没	2023年4月3日没	2021年7月10日没	2023年1月29日没

日小田信幸様（昭28年卒）	2022年3月31日没	佐藤 順一様（昭28年卒）	2021年1月14日没	植木 淑子様（昭28年卒）	2023年5月21日没	西山 尚子様（昭30年卒）	2023年8月24日没	鈴木 貞子様（昭31年卒）	2019年2月28日没	志水 宏様（昭31年卒）	2022年	副田 信行様（昭32年卒）	2016年11月28日没	佐藤 俊昭様（昭32年卒）	2023年9月14日没	橋本 長雄様（昭33年卒）	2023年2月2日没	森河 清様（昭33年卒）	2022年10月17日没	新 次也様（昭37年卒）	2020年12月11日没	藤岡 房子様（昭38年卒）	2022年10月7日没	染井 倫郎様（昭39年卒）	2023年1月8日没	都 文生様（昭41年卒）	2023年3月17日没	佐田 俊一様（昭41年卒）	2023年12月21日没	新 光子様（昭44年卒）	2011年7月30日没	佐田 正博様（昭44年卒）	2023年3月15日没	落合 弘美様（昭54年卒）	2023年8月
---------------	-------------	---------------	-------------	---------------	-------------	---------------	-------------	---------------	-------------	--------------	-------	---------------	--------------	---------------	-------------	---------------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	-------------	---------------	------------	--------------	-------------	---------------	--------------	--------------	-------------	---------------	-------------	---------------	---------

※事務局へ連絡をいただいた方々
を掲載させていただきました。

●連絡先●

〒181-0003
東京都三鷹市北野2-3-22
（広報委員長）衛藤 淳 宛
TEL 090-9159-7231
FAX 042-431-7762

E-mail :
etoj@hotmail.com